

第129期生 表彰式 挨拶

日 時 平成28年2月29日（月）
場 所 福島県立安積高等学校第一体育館

先ほど各賞を受賞された生徒諸君、本当におめでとう。
改めて私の祝福の気持ちを伝えたい。

安積で勉強にしっかり取り組み、部活動でも頑張る「文武両道」、
は、「言うは易く行ふは難し」の言葉どおりで本当に大変なことだが、生徒
諸君はよくやっている。（因みに、「文経武緯」（松山東高のモットー）とも）

先程、表彰を受けた生徒諸君は言うまでもないが、
全国大会・東北大会出場を果たせなかった、また、残念ながら今回の受賞に
は至らなかった部・同好会の生徒諸君も、それぞれ自己ベストの更新を目指
して、或いは、今までで最高レベルのパフォーマンス・成果を上げるべく、
大変な努力を継続してきたことと思う。

このことは、これからの長い人生の中で、様々な場面で生きてくる
はずだが、順風満帆とは行かないのが人生。

そんなときに思い出してほしい言葉を紹介するが、

昨年の表彰式では、江戸時代の儒学者、佐藤一斎の言葉を紹介。

「一灯を提^さげて暗夜を行く。暗夜を憂ふることかれ、ただ一灯を頼め。」

また、平成26年10月に、京都大学名誉教授で、数学界の
ノーベル賞と言われるフィールズ賞受賞者の広中平祐氏の講演の中の言葉

「人間に未来は見えない、しかし、未来はあなたが創るもの」と、

講演後、色紙に揮毫していただいた童話作家小川未明の言葉、

「雲の如く高く くものごとく輝き 雲のごとくとらわれず」

この「未来はあなたが創るもの」「雲の如く高く、輝き、とらわれず」は、
開拓者精神と自主自律の安積魂スピリッツを身につけて、高い志を持つ、
安積の生徒に相応しい言葉なので改めて紹介した。

最後に、129期生に、入学当時から繰り返し語りかけた言葉を、
もう一度

Concentration、Continuation、& Completion
集中して、継続し、完成へ、そして更なる完成へ、

ここにいる安積の生徒諸君すべてが、更なる高みを目指していくことを
期待して私の話を終わります。